

第2特集

言葉の力

医聖ヒポクラテスは、医師の武器として「第一に言葉，第二に薬草，第三にメスである」との言葉を残しています。もちろん，現代は古代ギリシャとは比べられないほど，「薬草」や「メス」は進歩しています。しかし，ヒポクラテスにとっては，あくまでも言葉の力が第一なのです。これは，現在の看護界にとっても，重くうけとめるべき姿勢ではないかと考えます。

「言葉」は，交わる，考える，伝える，読みとる，といった対人的営為のなかでも，中心的な役割を担ってきました。そのような人間の根幹にかかわるテーマであるからこそ，看護にとって，何かを学ぶ者にとって，実践を語る者にとって，言葉のもつ力はどういうものか，繰り返し考えていかなければならないと思います。

本特集では，看護界に限らず，広く言葉やことば化の問題を取り扱ってこられている先生方にとっての，言葉の力についてのお話を伺いました。みなさんの刺激，示唆となる特集となれば幸いです。